

AICHI GAKUIN UNIVERSITY NEWSLETTER



AG PRESS

大学だより

2021

10

AG NEWS FILE / シューカツの現場から「ガクチカ」

vol.219

〔特集〕

大学のつくり方

アイガク部署研究

<キャリアセンター就職課編>

location: アトリウム(名城公園キャンパス)

キャンパス発、旬のトピックスをご紹介します。

TOPICS

01



新型コロナウイルスワクチンの
職域接種を名城公園キャンパスで実施

本学では、少しでも早く従来通りの
キャンパスライフを取り戻すため、本
学学生、そのご家族、教職員、大学
近隣にお住まいの方、近隣の大学（中
部大学、愛知県立大学）の希望者を
対象とした職域接種（大学拠点接
種）を実施しました。1回目接種は
8月30日（月）、2回目接種は9月
27日（月）から各9日間実施し、無事
に希望者全員にワクチン接種を完了
することができました。本学教職員
がスタッフとして参加し、一丸となって
ワクチン接種業務に努め、滞りなく
終了できたことを嬉しく思います。
今後も本学では教育、研究、課外活
動等、学生が充実したキャンパスライ
フを安全・安心かつ早期に再開でき
るよう努めて参ります。

本事業は、大学後援会より助成をいただいております

【1回目接種】8月30日～9月9日

【2回目接種】9月27日～10月7日

接種期間

場所 名城公園キャンパス
アリストワー1階

種類 モデルナ社製

TOPICS

03



陸上競技日本男子代表の石田駆選手が 東京2020パラリンピック競技大会の結果を引田学長に報告

9月21日（火）、陸上競技男子100
m・400m日本代表の石田駆選手（総
合政策学部4年）が、引田学長に東京
2020パラリンピック競技大会の結
果を報告しました。石田選手は、パラ
陸上界の期待を背負う注目のアス
リートです。岐阜聖徳学園高校時代に
全国高校総体の400mに出場し、ス
ポーツ推薦で愛知学院大学に進学。入
学後、左肩の骨肉腫を患ったものの、
陸上を続ける決意で人工関節を入れ
る治療を選択し、2019年からパラ
陸上に参戦しました。東京2020パ
ラリンピック競技大会に先駆けて、7

月21日（水）、日進キャンパス100周年
記念講堂にて石田選手の壮行会を
実施。その際、「病气やコロナ禍を乗り
越えられて来られたのは自分自身の
努力の積み重ねだけではなく、支えて
いただいた方々のお力があってこそだ
と思っています。本番の舞台で最高のパ
フォーマンスができるよう残りの時間
も計画的にトレーニングをしていき
たいです。」と語っていました。本番では男
子400mは惜しくも予選敗退とな
りましたが、男子100mでは日本新
記録を二度更新して5位入賞とい
う華々しい成果を挙げました。

TOPICS

02



アーティスティックスイミング日本代表の吉田萌選手が 東京2020オリンピックの結果を引田学長に報告

8月20日（金）、本学職員でアーティ
スティックスイミング日本代表の吉田
萌選手が日進キャンパスを訪れ、引田
学長に東京2020オリンピックの
結果を報告しました。残念ながらメ
ダル獲得の目標には届かなかったもの
の、周囲への感謝の言葉を述べつつ、
次のように大会を振り返りました。
【吉田選手コメント】

この度はご声援いただきありがとうございます
ございました。東京オリンピックは無
観客開催でしたが、大学時代の友人
たちからいただいた寄せ書きの旗や、
愛知学院大学よりいただいた応援
メッセージの動画に、とても励まされ
ました。シンクロノイズドスイミング
からアーティスティックスイミングに
変わり、技術だけではなく芸術性も
求められる競技となりました。技術
では他国の選手に負けていないとい
う自信がありますが、体格の差もあ
り、魅せ方で点差が開いてしまったと
感じています。
次は、2022年5月、福岡にて開催
される「第19回FINA世界水泳選
手権2022」を目標に頑張るとい
う吉田選手。今後の活躍に期待して、
引き続き応援よろしくお願いします。

TOPICS

05

健康栄養学科の学生が、 北海道・厚沢部町の農産物で レシピを考案

6月21日に報告会をオンラインで実施

心身科学部健康栄養学科の学生が、北海道厚沢部町の特産品を使ってスポーツ栄養学に基づいたレシピ開発に挑むプロジェクト。昨年からスタートし、健康栄養学科の元教授・酒井映子先生、准教授・堀内容子先生、スポーツ栄養学演習非常勤講師・森裕子先生の協力を得てスポーツをする子どもたちを応援するレシピ考案に取り組んできました。開発にあたってはオンラインで生産者の皆様と話し合いをし、コロナ禍でも生産者・地域住民と学生の交流を深めながら地域を盛り上げることができました。6月21日(月)、プロジェクトの報告会をオンラインで開催。レシピ開発者と教員による報告、厚沢部役場の担当者や農家の方からのフィードバックなど、画面越しに活発な意見交換がおこなわれました。



TOPICS

04

総合政策学部2年生の 「リサーチ・プロジェクト事後合同報告会」開催



8月3日(火)、総合政策学部2年生の岩田ゼミ・中村ゼミ・村田ゼミの学生による「リサーチ・プロジェクトII a」の事後合同報告会が日進キャンパスで開催されました。このプロジェクトは総合政策学部独自の授業。今回の報告会では3〜4人程度のグループが13組登壇し、自治体の条例についてや里山地域の課題、映画内で描かれるジェンダーについての問題など、さまざまなテーマでの発表をおこないました。発表に向けた準備、当日のプレゼンテーションや質疑応答に学生たちは手応えを感じたようで、今後の学習への意欲を新たにしました。今後の成長に期待の持てる、有意義な報告会となりました。

TOPICS

06

歯学部新校舎誕生

2023年
8月末竣工



1961年に開設された愛知学院大学歯学部附属病院。高い専門性を備えた歯科医師たちが地域の健康に貢献するとともに、歯学部での学びを通して多くの歯科医師を育成・輩出してきました。開設から60年を経て2023年夏、歯学部を配置する末盛キャンパスが5・6年生の学習拠点をますます充実させるべく、学びの多様性に寄り添った新校舎を誕生させます。5つのコンセプトに基づき、歯科医師をめざす学生たちの本気に応えます。

〈新校舎 5つのコンセプト〉

- 1 | 教育・研究と医療の融合
- 2 | 周辺環境との調和
- 3 | 学びあいのステップ
- 4 | 研究環境の質的向上
- 5 | 既存附属病院との連携

大学の つくり方

アイガク部署研究

あまり知られていない大学のバックヤード。
見えないところで学生支援に奮闘する各部署の
役割と職員の仕事を紐解きます。

特集

AG vol.23
REPORT

#02 キャリアセンター 就職課編

就活のエキスパート集団。それがキャリアセンター就職課です。学部別の学生対応、運動部に所属する学生専任、インターンシップ支援や各種ガイダンスの企画・運営など、担当ごとに職員を配置して、それぞれが連携しながら就活サポートをおこなっています。私は、公務員志望の学生を担当。公務員ガイダンスやセミナーの開催、個別相談などをおこなっています。特に力を入れているのは面接対策です。近年、公務員採用においても人物重視の傾向が高まっていて、面接の結果が合否を大きく左右します。そのため、学生本人の考えや思いをしっかりと聞き出し、良い結果につながるよう他の公務員担当とも連携しながら模擬面接をおこなっています。長丁場の公務員試験対策における身近な相談者として、大切にしているのは「学生を孤独にしないこと」。双方向のコミュニケーションを心がけ、試験の前日には励ましの電話やメールを送るなど、つねに寄り添う姿勢を心がけています。そして合格発表の日、「受けました!」という連絡をもらうときの喜びは、ひとしおです。



・INTERVIEW

キャリアセンター就職課 | 小川 晃平さん

趣味 野球・ゴルフ

モットー どんなときも前向きに、笑顔で!

WHAT'S ?

キャリアセンター就職課 って こんな部署

日進・名城公園の各キャンパスで、就活本番を迎えた4年生はもちろん、2～3年生の早い時期からガイダンスやインターンシップなどを通して学生たちのキャリアデザインをサポート。学部担当制など、独自の体制・取り組みで、手厚い支援を実現しています。

学生に対して

就活イベントの企画・運営、個別対応など、学生への多彩で手厚いアプローチ。

- 就職ガイダンス・セミナーの実施
- 就職試験対策講座の実施
- 就活生個別相談
- 内定報告の取りまとめ

採用側に対して

採用担当者との関係づくりに力を入れ、進路の選択肢を増やしています。

- 情報収集
- 求人依頼
- インターンシップ依頼
- OB・OGの情報収集

NISSHIN MEMBER



MKC MEMBER



学生の夢を
全力サポート!

アスリート 担当



運動部に所属する学生の就活サポートに特化。独自のガイダンス、企業説明会、対策講座などを設け、一般学生とは異なる就活スケジュールで動くアスリート学生に寄り添います。企業や卒業生との関係づくりに力を入れ、卒業後の活躍のフィールドを広げています。

Voice

- リーダーシップやマネジメント力に長けたアスリート学生は魅力的な人材。私自身が一般企業で採用担当をしていた経験をもとに、学生と企業のマッチングに力を入れています。

佐藤 仁さん



PICK UP WORKS

多彩な人材を送り出してきた
実績と経験、企業とのつながりや
人脈を駆使しながら、
きめ細かいサポートで悔いのない
就職活動を応援します。

公務員 担当

複数の職員でチームを組んで担当しています。筆記試験や面接・論文対策はもちろん、個別相談によるメンタルフォローにも力を入れ、公務員をめざす全学年の学生をサポートします。公務員ガイダンス、業務説明会、ミニ模試、合格体験報告会などの独自の対策を実施し、毎年多くの合格者を輩出しています。

1・2
年次

ミニテストなどを通して、自分の今を知る
※業務説明会等の実施

3年次

1次筆記試験を見据え、学内ミニ模試など通じて筆記試験対策を重視。(その他、体力模試、愛知県警察・名古屋市消防との連携講義を実施)

4年次

1次試験総仕上げプラス、
2次面接試験に向け個別指導を強化



公務員試験対策は、かなりの長丁場。不安になる学生が、孤独にならず最後までがんばり切れるように、一人ひとりの意志や意欲を尊重し「一緒に頑張る!」「寄り添う」姿勢でサポートしています。

遠藤 香寿美さん

Voice

学部 担当 制

一人ひとりに寄り添った きめ細かい就活サポート

学部・学科ごとに専任の職員を配置する学部担当制を導入。基本的に学生ひとりに担当職員が付き、就活スタートから内定獲得まで継続して支援します。例えば健康栄養学科の担当者なら管理栄養士の採用に長けているなど、学部学科の特性に応じた支援ができるのが強みです。



面接対策

ESや履歴書の添削を通して自己分析の掘り下げを促し、広い視野での就活をサポートします。

志望先ごとに想定問答や対策を分析。模擬面接を繰り返し手厚くサポート。

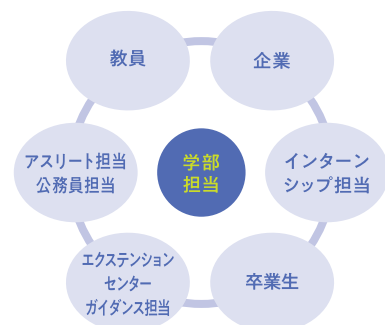


履歴書添削

Voice

- 学部担当者は最も身近な相談相手。履歴書等の添削や模擬面接、求人紹介など進路・就職について気軽にご相談ください。誰もが不安な就活で頼れる相談相手がいることは「就活成功」の秘訣です。

山田 英治さん



学内外の広い連携で 志望する進路実現をサポート

キャリアセンターの各部門同士はもちろん、教員や企業、卒業生など多様な関係者と連携し総合的にサポートします。

インターン シップ 担当

インターンシップ先の探し方やエントリーに関する相談対応のほか、関連ガイダンス、履歴書や自己PR文書の添削、マナーや身だしなみ講座など、インターンシップを希望する学生をサポート。また企業との関係づくりなど、受け入れ先を増やす取り組みにも力を入れています。

Voice

- 大切なのは、やりがいを持って働き続けられる仕事に就けるかどうかです。それを見極めるきっかけとして、インターンシップは有効。私たちが全力でサポートします。

奥山 貴文さん



ガイダンス 担当

企業や就職情報サイトからのヒアリングをもとに採用動向を分析し、学生が安心して就活にのぞめる指針を作成。それをもとに支援行事を組み立て、進路・就職ガイダンス、学内での企業説明会、各種セミナーや就職試験対策講座などの企画・運営をおこなっています。

Voice

- めざすのは、学生自身が「気づき」を得るガイダンスづくり。内定者や卒業生の体験談を盛り込み、身近なモデルを通して就活や入社後のイメージを描けるよう工夫しています。



鈴木 奈津子さん



アイガク 仕事図鑑

AIGAKU OB&OG

GRADUATE
REPORT

AKITO
OHKURA

07
PERSON

Dragons

中日ドラゴンズ
スコアラー

大藏 彰人

法学部 2016年度卒

SCORER

プロ野球の世界で
新たなキャリアを
スタート!

データの収集と分析で

チームを勝利に導く。

PROFILE

おおくら・あきと／プロ野球独立
リーグ徳島インディゴソックスを
経て、2017年育成選手ドラフト
1位で中日ドラゴンズに入団。
2021年よりスコアラー担当の
球団スタッフ。

裏方も含めてワンチーム。
スコアラーの役割と誇り。

プロ野球の試合前には、必ずミーティングが開かれます。相手投手の配球や打者の打席を細かく分析したデータをもとに、その日のゲームの戦略を立てるのです。そこで重要な役割を担うのが、我々スコアラー。プレーを撮影した映像解析、弾道測定器を使って取得した球速や回転数、打球の角度などのデータ分析の結果を選手たちに伝えます。地道な情報収集と緻密な解析の積み重ねで勝利に貢献できるのが面白いところ。今のプロ野球において、スコアラーは欠かせない存在なんです。僕はもともとプレーヤーでした。大学野球では神宮のマウンドにも立ったし、

卒業後は独立リーグの徳島インディゴソックスと中日ドラゴンズでプレーしました。でも、僕の野球人生は順風満帆だったわけではありません。学生時代には野球から離れた時期もあったし、ドラゴンズ入団後は難病を抱えて戦線を離脱。多くの時間を入院やリハビリに費やしました。そんな時、支えてくれたのが球団スタッフだったのです。理学療法士などリハビリをサポートしてくれる人たちに、身体的にも精神的にもずいぶん助けられました。その時、裏方も含めてチームなんだと悟ったことが、今の仕事につながっていると思います。スコアラーになってまだ1年目。データ野球をさらに深く学んで、選手が求める答えを出せる専門家になることをめざします。



情報は勝利の確率を上げる大きな要素。選手から何か質問された時に「わからない」と言うことのないように、データの収集や読み解きの精度を上げる努力をします。

ハタラク哲学

仕事のこだわりや
アイテムをご紹介します!

必須アイテムは ノートパソコン

テレビの野球中継でバックネット裏が映ると、そこにいるのは大体スコアラー。映像の解析や配信、資料作成などに使うノートパソコンを持ってアクティブに動き回っています。

MEMORIES ALBUM

大切な仲間と 出会った 硬式野球部時代



下級生の頃から大事な場面で投げさせてもらうなど、貴重な経験をした野球部時代。落ち込んだ時に救ってくれたり、ドラフト指名された時、真っ先に連絡をくれたり、当時の仲間は一生の宝物です。

シューカツの現場から

VOL.22

MESSAGE FROM CAREER CENTER

今回のお題

ガクチカ

「ガクチカ」をご存知ですか?その意味は「学生時代に力を入れたこと」。就活用語の定番で、多くの採用選考で必ずと言っていいほど問われるものです。そのため早い時期から計画的に行動し経験値を増やすことが大切。コロナ禍により活動の機会が減少していますが、やりたいこと、できることを見つけてチャレンジしましょう。

〔 採用側が重視する“ガクチカ”とは? 〕

1 なぜガクチカが必要なのか?

ガクチカを問う背景には、当然ながら理由があります。学生時代の活動を通して経験で養われる人間性と、それを仕事でどう生かせるかの判断材料にしているのです。ガクチカを通して採用側が学生の何を知ってどう評価するのか。そのポイントを押さえ、さまざまな活動に取り組む必要があります。



採用側がガクチカを聞く理由

- ☑ **経験そのもののレベル・スペックを把握するため**
学生時代の挑戦と実績の背景にある努力、そこから得た学びを知りたい。
- ☑ **自社にマッチする人材かどうか見極めるため**
求める人材像をもとに、人柄や考え方、物事への取り組み方を知りたい。

2 採用側の評価ポイント

① 経験・実績のインパクト

例えば「部活動で全国優勝」などの実績は目に留まりやすいもの。ただ、成功体験だけでなくそれに付随する自身の人柄や価値観をアピールすることが大切です。

② 思考力・モチベーション・人柄

アイデアを生み出すことに通じる思考力、仕事への取り組み方と直結するモチベーション、求める人材像と重なる人柄。この3点を経験談に盛り込みましょう。

③ 学習能力とポテンシャル

採用側が求めるのは、経験から得た学びを次に生かす力です。課題や目標をどう設定しクリアしたか。そんな経験談から学生のポテンシャルを評価します。

Check!

／ 先輩たちは、こんなガクチカアピールで志望先からの内定を勝ち取りました。 ／

幅広い世代と交流して多様な考え方や価値観を知り、コミュニケーション力を身につけた。

ボランティア



留学生の学習と生活面の支援活動を通し、相手に合わせた行動の大切さを学んだ。

留学生サポート



飲食店でアルバイトリーダーを経験。チームをまとめる力や協調性を身につけた。

アルバイト



社会貢献活動として小学生ラグビー教室を発案・実施。行動力と企画力を養った。

部活動



FROM キャリアセンター



キャリアセンターからのアドバイス

1～2年次からガクチカに取り組むことが、自身の可能性を広げ豊かな人生につながるはず。コロナ禍で制約が多い中、例えばオンラインセミナーに参加する、資格取得を目指すなど、個人で挑戦できることも考えてみましょう。

▶ ガクチカにつながる取り組み

English Loungeでの国際交流、情報処理教育センターでのSA (Student Assistant) など、ガクチカにつながる活動機会が学内にもたくさんあります。アンテナを広く張って情報をつかみましょう。



▶ 大学アプリで情報収集

学外のイベント情報なども公式アプリのNEWS/INFOで発信しています。

iPhone



Android



日日是好日

vol.2

暮らしに役立つ禅の教え



解説していただく先生



禅研究所 所長 岡島 秀隆先生

愛知学院大学教養部教授、曹洞宗霊松寺住職。主な研究分野は宗教哲学、比較宗教思想、禅仏教。2021年、禅語を読み解く教養書「思考禅のスミエー仏祖の言葉を読んでみよう」（北樹出版）、比較解釈を方法論とする道元思想の研究書「対話哲学としての道元思想」（法蔵館）を上梓。

明治9年、曹洞宗の専門学支校として開設され「行学一体・報恩感謝」を建学の精神に掲げる愛知学院。その教育の元となるのが禅の考え方で。それらはまた、今日に伝えられている数々の「禅語」にも集約されています。そんな禅の言葉を紐解けば、毎日をたくましく生きるヒントになりそうです。

今回のテーマ

せいざんじょううんぽ

青山常運歩

「頭が固いよ」「その考え方は古くない？」お子さんから、そんな風に言われたことはありませんか？社会の中で物事のあり方が大きく変化してきている今、世間の常識や社会人として持つべき価値観も変わりつつあります。これまでで得てきた知見は大きな財産であり、それによって培われた自身の考え方や価値基準は大切なものです。しかし、そればかりに固執していると、その時々の変化の波を乗り越え、長い人生をしっかりと生き抜くことは難しいかもしれません。そこで覚えていて欲しいのが、今回の禅語です。「山は常に歩いている」。不動のはずの山が動くという意味で、原典では「石女夜生児」と続きます。シンプルでありながら難解なこの言葉は、道元禅師による仏教思想書「正法眼蔵」

にも取り上げられています。不動なるものの象徴である山も、四季の移ろいの中で常に変わり続け、季節ごとの姿へと変貌を遂げます。確かな信念を持ちながらも、固定観念にとらわれず周りの変化に柔軟に対応する。生きる上で大切なのは、そんな姿勢だと教えてくれます。この教えが響くのは、親世代だけではありません。これから社会に出ていく若者たちにこそ、ぜひ心に刻んで欲しい言葉です。視野を広く持ち、当たり前とされている常識を疑ってみてください。例えば進路選択においても、世間のイメージや自身の勝手な思い込みを捨て、違う角度から企業や仕事を見てみる。そうすることで、きつと新たな可能性が開くはずです。

原典・『嘉泰普燈錄』芙蓉道楷章

愛知学院大学 永平寺一泊参禅

愛知学院大学では、建学の精神「行学一体・報恩感謝」に基づく伝統行事として「永平寺一泊参禅」をおこなっています。曹洞宗大本山永平寺は、寛元2年、道元禅師により創設された「日本曹洞宗」の第一道場。学生たちは坐禅体験などを通して祖師の精神に触れ、勉学や社会生活に生かせる禅的教養や人間力を養います。



illustration : 児島 衣里